

Syllabus Id	62525
Subject Id	6200700
更新履歴	60122
授業科目名	英語(選択:英語β)
担当教員名	藤井数馬
対象クラス	全学科5年生
単位数	2単位
必修/選択	選択
開講時期	通年(H. 18)
授業区分	
授業形態	講義
実施場所	E5

授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

英検2級程度の実践問題演習を中心に行う。授業の目的は、高専卒業前に、受講者全員に最低英検2級程度の一般英語力を身につけてもらい、社会で活躍するための手段の一つにしてもらうことである。従って、授業では、英検2級予想問題集をドリル形式に行い、その解答・解説を行うことを中心とする。しかしながら、予想問題を行い答えが合うだけでは実力を身につけたとは言いがたい。そこで、時事英語にもあたり、そこで実践的な英語読解力も身につけてもらう。また、受講者の様子を見て、工業英語、常識的な表現(電話での応対、空港での会話、買い物する時の会話)を扱うこともある。英検は一般的な英語を扱っているため、最低2級の実力を身につけることは、今後どの社会に出てもその意義は大きいので、頑張ってもらいたい。なお、受講生には1年のうち最低回は英検(それが無理ならばTOEIC、工業英検)の受験をしてもらうことが望ましい。

準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

英検2級合格に最低限必要な基礎的な文法知識、及び読解能力

学習・教育目標	Weight	目標	
		A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
		C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
	◎	D	国際的な受信・発信能力の養成
		E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成
D:国際的に活躍できるための最低限の基礎知識を養成する。			

学習・教育目標の達成度検査

1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験を持って行う。
2. 英検2級の合格の結果も本講義の達成度の一部として考慮する。
3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。

授業目標

1. 英検2級合格という目標を持たせ、問題演習を行うことで、英語の総合的な力が身につけ、将来社会で活躍できるための一手段を身につけることができる。
2. 時事英語を読解、場面に応じた表現を覚えることで、実践的な英語力を身につけることができる。

授業計画(プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

回	メインテーマ	サブテーマ
第1回	前期オリエンテーション	プログラムの学習・教育目標、授業概要・目標、スケジュール、評価方法と基準、等の説明、英検の説明
第2回	文法、時事読解	1st day文法、The Story of Maria Sharapova
第3回	短文、時事読解	1st day短文、Let's Try Blogging
第4回	長文、時事読解	1st day長文、Developing Links of Support
第5回	文法、時事読解	2nd day文法、The Future of Professional Sports
第6回	短文、時事読解	2nd day短文、Messages from Female Rock Singers
第7回	長文、時事読解	2nd day長文、The Curiosity of Leonardo Da Vinci
第8回	前期中間試験	
第9回	文法	3rd day文法、Enjoying Extracurricular Activities
第10回	短文、時事読解	3rd day短文、Kitajima Kosuke
第11回	長文、時事読解	3rd day長文、Super Express to the Future
第12回	文法、時事読解	4th day文法、A Laugh Culture
第13回	短文、時事読解	4th day短文、NEETs and the Future of Japan

第14回	長文、時事読解	4th day長文、Bonding with Our Pets
第15回	前期期末試験	
第16回	後期オリエンテーション	プログラムの学習・教育目標、授業概要・目標、スケジュール、評価方法と基準、等の説明、テスト返却
第17回	文法、時事読解	5th day文法、Historical Japanese Buildings
第18回	短文、時事読解	5th day短文、Stop Global Warming
第19回	長文、時事読解	5th day長文、電話表現
第20回	文法、時事読解	6th day文法、工業英語
第21回	短文、時事読解	6th day短文、時事英語
第22回	長文、時事読解	6th day長文、口語表現
第23回	後期中間試験	
第24回	文法	7th day文法、テスト返却
第25回	短文、時事読解	7th day短文、工業英語
第26回	長文、時事読解	7th day長文、口語表現
第27回	文法、時事読解	準1級文法、時事英語
第28回	短文、時事読解	準1級短文、工業英語
第29回	長文	準1級長文
第30回	後期末試験	

課題

オフィスアワー：昼休み及び放課後(毎日)

評価方法と基準

評価方法：

英検2級合格の実力がついたかどうかを、定期試験や実際の受験で、適切な点数を取れたか(あるいは合格できたか)を判断し、定期試験の結果を70%、英検の受験結果があれば、それを20%の割合で評価する。また、意欲、授業態度等の通常点も評価に入れる。

評価基準：

前期試験35%、後期試35%、授業態度(出席状況、授業態度、意欲、忘れ物等)20%、英検受験結果も考慮する(+20%)

教科書等	『英検2級予想問題ドリル』(旺文社)1150円、『Road Hitter』(数研出版)457円、その他『Cosmo View』、『英検準1級予想問題ドリル』を進行状況、クラスの様子に応じて購入してもらっても構わない。
先修科目	総合英語(1年～4年)、英語W、英語C
関連サイトのURL	
授業アンケートへの対応	板書を分かりやすく、丁寧にするよう心がける。進度は状況に応じて変更になる可能性がある。
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。